

京丹後市まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの改訂について（概要）

改訂の趣旨

令和3年11月に令和2年国勢調査の結果が公表されたタイミングを踏まえ、本市の人口ビジョン策定後に公表された「京都府人口ビジョン」（平成27年10月策定）も勘案し、この間の人口推移を踏まえつつ、改訂を行うもの。

※法律（まち・ひと・しごと創生法）では、市町村は、国及び都道府県のビジョン（総合戦略）を勘案して策定するよう努めなければならないとされています。

京都府人口ビジョンについて

出生率に関する仮定：令和12（2030）年＝1.80、令和22（2040）年＝2.07（北部地域のみ2.3）

社会移動に関する仮定：令和12（2030）年に社会減の地域が解消し、令和22（2040）年以降は1,000人の転入増が続く。

京都府北部地域（5市2町）の将来展望：令和42（2060）年に約22.2万人

京丹後市人口ビジョン将来推計

出生率に関する仮定：基準値1.86から令和22（2040）年に2.3まで向上、以降は維持推移すると仮定

社会移動に関する仮定：令和7（2025）年以降、25歳～49歳の人口移動率を5年ごとに一律5%向上等

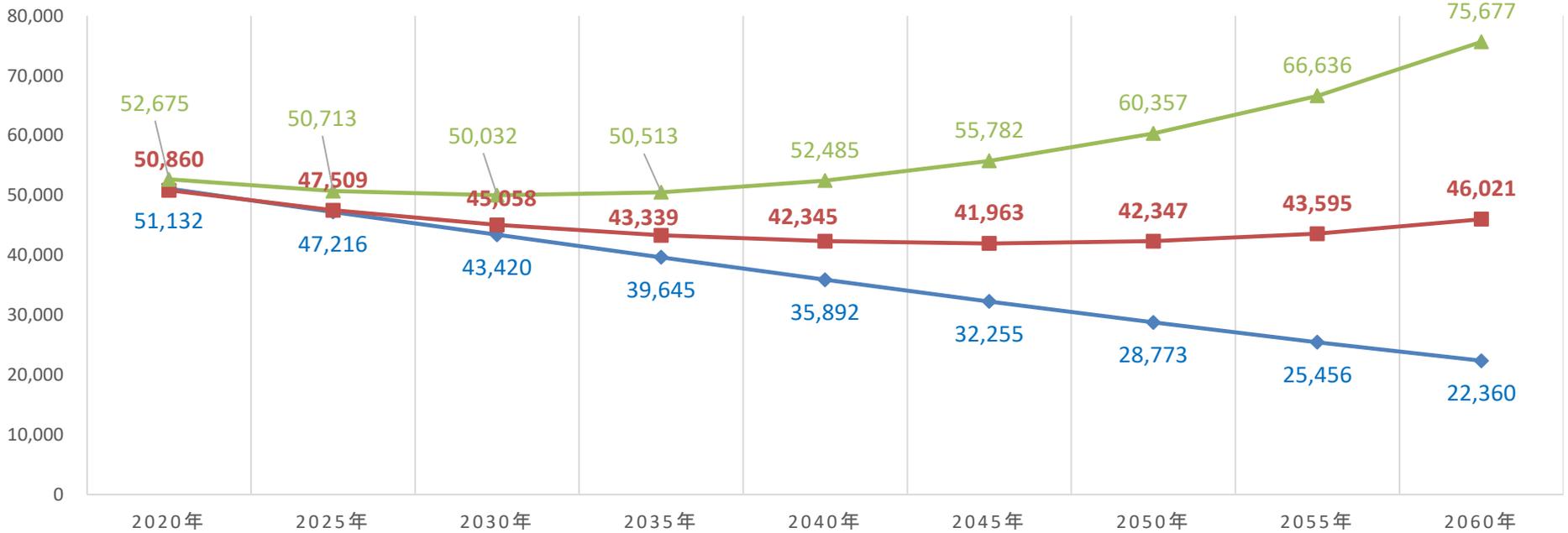
※京都府ビジョンと同様、令和12（2030）年に社会減が解消

※基本的な考え方は現行ビジョンから変更なし

京丹後市の人口の将来展望：約4万6千人

京丹後市の将来推計人口

◆ 社人研推計準拠
 ■ 京丹後市独自推計 (新ビジョン・R2国調ベース)
 ▲ 京丹後市独自推計 (現行ビジョン・H22国調ベース)



【考え方】 2060年に人口 ~~約7万5千人~~ **約4万6千人**

20歳～24歳の人口移動率に2020年**2025年**から5年毎に一律 3%上乗せ
(2020年～2025年までは1.2%向上で試算)

25歳～49歳の人口移動率に2020年**2025年**から5年毎に一律 5%上乗せ
(2020～2025年までは2%向上で試算)

50歳～69歳の人口移動率に2020年**2025年**から5年毎に一律 1%上乗せ
90歳以上の生残率を2020年**2025年**から5年毎に一律 1%上乗せ

国勢調査の結果や人口動態の推移を踏まえ、政策効果の発現が5年間遅れると推測。(考え方はそのまま)